

ひとりじゃない、誰かと協力しながら「子育て」を。

ファミリーサポートセンター、活動中

町ファミリーサポートセンター (町社会福祉協議会)
☎ 34-2118 ☎ 34-7305

ファミリーサポートセンターとは？

3月から開始した、ファミリーサポートセンター。これは、子育ての手助けをしたい人「援助会員」、子育ての手助けをしてほしい人「依頼会員」がそれぞれセンターの会員となり、当事者間の信頼関係で成り立つ有償の相互援助活動です。

ファミリーサポートセンター事業の仕組み (イメージ図)

① 援助の申し込み

希望日の5日前までに、センターへ連絡 (電話、FAX、メール)



依頼会員

△現状や援助希望内容など、まずはアドバイザーがお聞きします

町ファミリーサポートセンター

② 活動できる援助会員の調整

③ 会員同士のマッチング

(顔合わせ・事前打ち合わせ)



△マッチング後、会員同士の顔合わせ。お互いのことを知り、交流を深めます

援助会員

④ 子育ての援助活動の実施

⑤ 援助活動終了後の報酬支払い



援助会員 Q&A

Q. 活動できる時間が限られているのですが…

A. この事業は、会員同士の相互援助活動です。会員それぞれの事情にあわせ「できること」を「できるとき」に、無理なく活動いただけます。

Q. どこで預かるのですか？

A. 援助会員の自宅、または両会員同意のもとで、ふれあいセンターなど町の子育て支援拠点を利用しての預かりも可能です。その際は、各拠点が定める利用方法に従ってください。

Q. 保育経験がありませんが大丈夫ですか？

A. 事前に、保育の仕方や子どもの病気、救急救命講習など、十分な講習を行います。



▲援助会員養成講座の様子

講習を修了した人のみが援助会員として登録できます。

なお、万一の事故に備え、ファミリーサポートセンターが補償保険に加入します。(保険料の個人負担はありません)

利用には、事前の会員登録が必要です

援助会員 (子育ての手助けをしたい人) の条件

- 町内在住で、心身ともに健康な 20 歳以上の人
- センターが実施する研修会を受講した人

依頼会員 (子育ての手助けをしてほしい人) の条件

- 町内在住で、おおむね生後 6 ヶ月から、小学 6 年生までの子どもがいる人
- センターが説明する入会説明を受け、趣旨に賛同できる人

※両方の会員になることも可能です。(両方会員)

主なサポート内容

- 保育園・幼稚園・小学校・学童クラブなどへの送迎
- 保育施設の開始前、または終了後の預かり
- 冠婚葬祭や学校行事、そのほか外出の際の預かり

援助活動終了後の報酬について (1 時間あたり)

依頼会員から援助会員に、援助活動終了時にその場でお支払いいただきます。

曜日	時間	報酬基準額
月～金曜日	午前 8 時～午後 6 時	600 円
	午前 7 時～ 8 時	700 円
	午後 6 時～ 8 時	
土・日曜日、祝日、12 月 29 日～ 1 月 3 日	午前 7 時～午後 8 時	800 円

※労働の賃金ではなく、お礼の気持ちとお考えください。

これからへの思い、課題など…

援助会員にお話を伺いました



援助会員、アドバイザー、町社協職員、町職員を交え、ファミリーサポートセンター事業への思い、期待、課題など、さまざまなことを語っていただきました。



援助会員
宮田詩織さん

自分自身の知識・経験を生かした子育て世代へ「恩送り」を

私は、自分自身子育てで悩んできた経験や、看護師として母子支援の分野に興味があったことから、約10年、個人での援助活動を継続してきました。今回は今までしてきたことの延長として、自分がサポートしてきてもらったことへの「恩返し」ではなく、次の子育て世代への「恩送り」として、この事業にも参加しました。

核家族化や女性の社会進出などの影響で、地域とのかかわりが少なく「孤育て」となっている家庭は特に情報が届きにくい状況にあるので、自分の知識や経験を生かしてフォローしていければと考えています。

援助会員の不足、サポート内容の充実など…課題も多くあります。周りとは協力しながら、問題解決に向けて取り組んでいきたいです。



援助会員
福井笑子さん

子育てに悩む親の居場所をつくってあげたい

私は半世紀ほど、長らく保育の仕事に携わっていました。昨年の3月末、園長を務めていた認定こども園を定年退職し、今後のことを考えていたところ、このまちでファミリーサポートセンター事業を始めると聞き迷わず登録しました。

人格形成をする時期に、大人との信頼関係を構築していくことは、子どもの情緒の安定に何より必要です。自分の培ってきた経験を生かして、子育てに悩む親の居場所をつくってあげられたらと思っています。

仕事の関係で、ずっと住んでいたこのまちでの地域のつながりに関わっていなかったとも感じていたので、この事業を通してたくさんの人たちとつながり、思いや考えを共有して、活動をより広げていきたいです。



アドバイザー
真田淳子さん

家族の幸せを大切に…そのための支援の輪を広げていきたい

子どもがすくすくと育つために最も大切なこと…それは家族の幸せ。

子育てで悩みがある、少し子どもを見てほしい時がある…さまざまな事情を持つ親に、ファミリーサポートセンターは寄り添える事業です。

今は電話対応が中心ですが、何回も話しているうちに、本音を言ってもらえるようになっていくなど、会員同士のつながり・信頼が見え始めています。

でも、もっと充実した事業にしていくには…会員の活動拠点、援助会員の負担軽減など、課題はあります。

そのためには、まずはできることから。子育てに悩む親の声を集め、それをもとに活動を広げていく。その中でより多く、ご協力いただける人を増やしていけたらと思います。

●今後の援助会員の募集については、広報たわらもとや町社協ホームページなどで決まり次第お知らせします。



◀町社会福祉協議会
ホームページ

—たわらもとの子育て世代を、地域で支えるために— ぜひ、会員になってみませんか

この事業は、会員同士の支え合いで成り立ちます。良好な関係を築き、無理なく協力しあえる…地域で子育てを支援する、一つのカタチ。

課題は少なくありません。それを乗り越え、発展させるには、多くの人々のご協力が必要です。

地域皆で支援していきましょう。



●依頼会員の登録（随時受付中）、援助の申し込みなど、お問い合わせは町ファミリーサポートセンター（町社会福祉協議会） ☎ 34-2118 FAX 34-7305 まで